

第7回 習志野台地区市政懇談会議事録

開催日時 平成19年 5月19日(土) 午前10時～12時

開催場所 習志野台公民館 講 堂

【質問事項】

- ・飯山満・古和釜線(ラドン交差点付近から高根木戸駅踏切付近まで)の道路拡幅に関する進捗状況及び今後の見通しについて
- ・西習志野地区の下水道建設に対する今後の見通しについて
- ・習志野台地区に「防災倉庫」「耐震性井戸」の設置要望について
- ・船橋市東部地区夜間救急センターの設置に関する要望について
- ・新京成線習志野駅脇の1号踏切の両脇に歩道の設置とこの1号踏切から東図書館までの道路の拡幅について
- ・医療センターの緩和ケア病棟の建設について
- ・民間マンション建設の際に起こる日照権問題等について
- ・習志野台2丁目公園の「ふれあい花壇」敷地内への水道設置について
- ・新京成線北習志野駅の歩道橋へのエレベーター設置及び耐震について
- ・道路側溝下水汚泥清掃について
- ・働きたいお母さんの放課後ルーム増設について
- ・スクールガードの帽子、ジャンパーの支給について
- ・新京成バスの路線変更について

飯山満・古和釜線（ラドン交差点付近から高根木戸駅踏切付近まで）の道路拡幅に関する進捗状況及び今後の見通しについて

【質 問】

高根木戸駅・北習志野駅の西側の下水道と、道路拡幅について。古和釜宮本線の高根木戸の踏み切り、東西にある道路については、以前に高郷町会で陳情書を出し、測量や説明会等着々と進んでるように見受けられます。現状の進捗状況、それから今後の見通しをお尋ねします。それから下水道について、西習志野地区の進捗状況の説明いただければと思います。

【回 答】

都市計画道路3・4・25号線、幅員が16m、宮本から古和釜十字路に至る約10キロ弱の道路です。宮本から芝山団地までは完了しております。芝山団地からラドン交差点までは、97%が終わっております。高根木戸の踏切を含め、松ヶ丘の方面225mは、完成いたしました。ラドン交差点から高根木戸踏切までの約285mについては、平成18年から22年度を完成目標とし、昨年1月に地元説明会を実施、その後測量、境界立会い等を実施いたしました。権利者の方への交渉等は18年度に行い、約5%を完了、引き続き19年度から用地交渉等全力をあげて実施してまいります。

・西習志野地区の下水道建設に対する今後の見通しについて

【回 答】

西習志野1丁目、2丁目、3丁目、西習志野4丁目、それと習志野台4丁目、平成19年から21年までの期間に整備していく予定でございます。19年度の整備予定が水色、紫が20年度、薄黄緑が21年度の整備になっております。この地区は通常の幹線整備をとらないで、幹線部分と枝葉の部分が接続できるという形をとっております。したがって雨水整備を行っており、ここに幹線が入っておりまして、平成21年度に最上流部に到達し、西習志野1丁目から4丁目地区の整備をしたところを接続、整備の体制になっております。西習志野4丁目の部分につきましては23

年度以降の整備になります。つぎに供用開始は21年度開始予定としております、当然工事の始めるときの工事説明会でも詳細にお話しします。

・習志野台地区に「防災倉庫」「耐震性井戸」の設置要望について

【質問】

当地区に防災倉庫・耐震性井戸の設置要望について、当地区は世帯数が多く、第二小学校で夏に総合訓練やるんですけども、資材が不足したら薬円台南小学校から搬送ということになっている、現実には大きな地震が起きますと、数日間は動きがとれないわけです。搬送なんて出来きないんです。一昨年、習志野台第二小学校の総合防災訓練をやりました。参加した町会の世帯数は全部で8300世帯。習志野台3丁目町会他5町会、8344世帯が参加しました。第二小学校は現在カンパンが3200食、毛布が360枚、防水シートが100枚、上水用ポリタンク40個、固形燃料108個、簡易トイレ5基、でございます。また、最近坪井地区も開発され、そういう意味で防災倉庫とか耐震井戸はどうしても必要だと感じております。

【回答】

はじめにこの習志野台地区は、先ほど防犯の関係も市長からも申し上げましたが、自主防災率の結成率が市内で一番高い地域でございます。市といたしましてもこれは非常に心強いことでございます。この場をお借りしてはじめに御礼を申し上げます。備蓄の関係等について答えさせていただきます。はじめに市の防災計画は、県の地震被害想定と連携をしております。千葉県中央部、位置的には千葉市のほぼ東側になりますが、そこで地下20mのところマグニチュード7.2の直下型の地震が起きた場合にどうなるか、ということで想定をしております。それについては、阪神淡路大震災の時の被害の状況を数値に換算をしまして、船橋市に置き換えてどうなのか、ということで計画を作成しているところでございます。ご質問にございました食料とか生活の必需品、資機材の備蓄につきましては、市内の55の小学校、高根台第一小学校が4月に統合された関係で小学校

は54ですけども、防災倉庫としてはそのまま残してありますので、55ヶ所をこれまで進めてまいりました。それで18年度に55の小学校全てで配備を終りましたので、市としては、同じく避難所になっております中学校についても、分散備蓄をはじめようということで、18年度は習志野台中学校を含めまして7ヶ所備蓄を完了したところでございます。今年度も5ヶ所を計画的に進めていこうと考えております。先ほど部会長さんのほうからお話しありましたように、避難所で不足した場合に対応するために、消防署や薬円台南小とかを利用して、7ヶ所に耐震性の倉庫を設けております。それと広域公園グラスポとか広い公園のところでコンテナ型の倉庫を置いて、災害時にもしも不足した場合には、そこから搬送するという考えでおります。確かにご指摘のようにこの地区の居住人口からいたしますと、備蓄量は非常に少なく感じられると思います。ただこの習志野台地区は会長さんも言うておりましたが、非常に安定した地域で、地震の想定でも第一でございます。次に道路網も他の船橋の旧市街地等と比較しますとかなり整備をされています。また、倒壊家屋の予想等につきましても、県との協議やいろいろな分析のなかでは、阪神淡路のときに経験したような道路をまるっきり建物で塞いでしまうという危険性は低い地域と考えておりますので、この地区で、例えば地震が発生した場合に、いっぺんに大多数の方の食料が不足してしまうということは、私どもの分析では想定しておりません。確かに数は、安心のためにはあればあったほうがいいわけですけども、市といたしましては、先ほど言いましたように中学校の備蓄を今、開始しておりまして、市全体の備蓄力を高めたいと考えております。今回、防災倉庫の設置につきましては、中学校の備蓄を優先した上で、その時点で再度検討させていただきたいと考えております。

次に水の確保につきましては、これも大変ご心配なことだと思います。一般的に成人というか大人一人が1日に必要な水の量が3リットルと言われております。市では他の自治体ではあまりない、耐震性井戸を昭和55年から整備をはじめておりまして、市内に18ヶ所用意しております。これは地下100m以上の深さから水を汲み上げまして、地震でもしも電気がこない場合も自家発電装置を備えております。時間あたり12トン（12000リットル）の水を汲み上げられるという能力になっております。これは全体をみますと、人口に換算すると市内18ヶ所で大体8時間

それぞれフル稼働させると必要量は確保できる。ただいろんな状況がございますので、それが全て万全に完璧にいくかということとはちょっと断言はできませんが、24時間のなかで相互にやりとりすれば対応はできる。先ほど部会長さんがおっしゃったように搬送の問題がございます。これについても県の方といろいろ給水車の関係や第一空挺団の方の給水車の関係など、いろいろ協議をして対応をしていくような形をとっております。習志野台地区の耐震性井戸の対象は、高根台第二小と薬円台南小に耐震性井戸がございます、その間に習志野台地区がございます。もうひとつは、習志野台第一小のそばに県の浄水場がございます。もしも被災した場合にはそこも給水場として供給を開始するという体制をとることになっていきます。ですから耐震性井戸をここの地域に再度掘るよりもは、その辺の対応のほうを充実させていきたいと考えているところでございます。もう一点、昨年度耐震性井戸のない地域に手押しの耐震性の井戸を掘ることを開始いたしました。地区の方でご覧になった方もいらっしゃると思いますが、北習志野第7公園に手押しの耐震性の井戸というのがございます。これについても職員等でやらせてみますと大体20リットルのポリタンク、大人の方が普通にこいで大体1分半くらいで一杯にできると思います。これはあくまでも補完的な井戸ですが、各地域に分散して置くことは、非常に大事だと思っておりますので、井戸も何らかの場合に不足した場合には、ご使用いただければと考えております。ご要望のございました耐震性井戸については、この地区でそうやって考えておりますので、市全体の中での計画が済んだ時点で改めて検討させていただきたいというふうに考えております。先ほどから、この地域は非常に皆様方が連携していろいろ取り組んでいただいているということと、市長のほうも安全安心な街づくりということで、非常に厳しく私どもに徹底するように指示しております。私どもも最善を尽くすように努力はしてまいりますが、地震の場合は行政のカバーできる範囲というのは、非常に厳しい面も想像されます、私どもとしては「備えよう水と食料3日分」ということで市民の皆様をお願いしているところでございますので、今日おいでの皆様方も是非ご近所の方にも声をかけていただいて、日頃から何らかの形で3日分くらいのペットボトルを常に備えていただけるような、ご協力を賜れば幸いです。要望に添えないような内容ですけれども、私どもとしては体制はそれ

なりにとってまいりたいと考えておりますのでご理解賜ればと思います。

・船橋市東部地区夜間救急センターの設置に関する要望について

【質 問】

東部地区の夜間救急センターについて、この地区の子育てサロンその他のいろいろな催しで、赤ちゃんや乳幼児の急病時の対応という声が非常に多くございます。当地区はますます若い夫婦が増えますので、この要望に対しまして、単独設置か地域内の病院との連携して対応できるか、よろしくお願いいたします。

【回 答】

東部地区夜間救急センターの設置に関する要望にお答えをさせていただきます。全国的な傾向といたしまして小児科医は非常に不足をしております。小児科医の退職等による小児科病棟の閉鎖、このことは本市も例外ではございません。例えば、重症患者の診療にあたるべき小児のほうは、二次救急病院というものがございます。4病院のうち1つの病院は、昨年3月に小児病棟閉鎖、6月には外来の診療も休止。その後、病院の先生方の懸命な努力により、外来の診療再開にこぎつけた状況でございます。小児救急医療体制につきましては、決して危機をあおるわけではございませんけれども、まさに崩壊の危機に直面していると、そういっても過言ではない状況にあると思っております。原因は保護者の専門医志向や患者さんが小児救急の病院に、時間外に訪れるということがございます。そもそも小児の二次救急病院というのは、入院を要する患者や重症の患者を診るというのが二次救急病院でございます。そこに非常に多くの患者さんが押しかけます、その結果、医師不足が非常に多いなか、超過勤務を強いられたり、当直明けで外来の診療を行うという、非常に激務を強いられております。それが過重な負担となり疲弊をする。それが退職に結びついてくるというような状況でございます。そういうような状況の中で、船橋市の小児救急体制について、現在、小児科の専門医は38名でございます。非常

に少ない状況でございますが、船橋市の医師会の大変なご協力をいただきまして船橋駅北口に夜間急病診療所で小児科の専門医による小児の初期診療の実施をしております。特に昨年は12月から1年365日、毎日小児科の専門医が夜間急病診療所に勤務をする、そういう体制も整備したところでもございます。また日曜日・祝日あるいは年末年始につきましては、休日当番医制度があり、小児科を標榜する診療所を1箇所割り振っております。またインフルエンザの流行する時期やゴールデンウィークの期間には小児科診療を1箇所増やして診療にあたってございます。要望のございました病院との連携及び東部地区に夜間救急センターを設置するについては、現実問題としては難しい状況でございます。また、お子さんが急な病気の時どうするのかということですが、昨年、「小児救急ガイドブック」を医師会の協力を得まして1万部作成をいたしました。また、来月6月にも作成をいたしまして子供の検診のときや、子育て支援センター等で配布をいたします。また、本日、夜間の急な病気の時にはということで、夜間救急診療所等の内容記載した資料がございますので、ご利用いただければと思います。また、電話等の問い合わせでございますが、県の事業で千葉県小児救急電話相談がございます。これは#8000と通称言われています。土曜日と日曜、祝日、年末年始の午後7時から10時まで小児科の先生や看護師が直接相談にあたっております。いずれにいたしましてもお子さんの病気については、診療所あるいは夜間救急診療所、休日診療所等利用で対応できますので、船橋市の小児救急医療体制の維持にご協力していただければと思っております。

- ・ 新京成線習志野駅脇の1号踏切の両脇に歩道の設置とこの1号踏切から東図書館までの道路の拡幅について

【質 問】

新京成の北習志野駅の一号公園の踏切の拡幅と、踏切から東図書館等公民館に来るまでの間の道路の拡幅について、この道路はトラックが通るたびに、カニみたいに横にならないと通れない、雨の日は危なくて傘も差せないような状態です。踏切のそばのセントラルマンションの小学生は七林

小学校まで通学しています。拡幅はいつごろになるのか、セントラルマンションから北習志野の三角公園の間に歩道などを設けていただきたい。

【回 答】

都市計画道路3・4・20号線、並びに北習志野の一号踏切の拡幅、それと三角公園にいたる通り抜けの質問でございますが、踏切から図書館、約680mでございますが、道路部の道路建設課で部分的に用地を取得し、舗装及び安全対策等実施しております。この路線は680mと非常に長いものですから、全部終わるにはかなりの時間を要することと、踏み切りの拡幅につきましては前後の歩道の拡幅等が必要になります。何年度に終るといことは申し上げられませんが、引き続き用地買収等については実施してまいります。さきほどの踏み切りの拡幅については、日大側に市で管理している植栽があります、非常に面積が大きいものです。また逆の方向に一部2m程度の歩道があり、都市計画道路の拡幅路線とは別に、拡幅のほうを検討しまして、新京成電鉄並びに県とその用地の利用も含めまして、早急に調整してまいりたいと思っております。また、習志野駅へ向かう道路につきましても併せて検討させていただきたいと思っております。

・ 医療センターの緩和ケア病棟の建設について

【質 問】

15日の広報で医療センターのなかにガンの苦痛を和らげるケアセンターができるっていうのを知りました。私の友達とかも本当にガンになっている人がすごく多くて、本当に緩和ケアセンターが船橋にできるってことは、素晴らしく、有難いなあと思いました。それで市長さんにお聞きしたいのですが、今、放射線の治療がすごくいいって話も聞いていますので、放射線の治療に対し高めていただきたい。市長から市民に「ガンは怖くないよ、ちゃんとした治療を受けると治る病気だよ」、っていうのをぜひアピールしていただきたいなと思っております。

【回 答】

確かにこの15日の広報で緩和ケアがでたわけですが、当初リハビリ病院と緩和ケア病床、これを県から病床をいただくときに220床でいただいたんです。それで200床がリハビリ病院、20床がこの緩和ケアということでした。なかなか手がかんがなかったんですけれども、やっとここへきて着工できるところまでできました。そして医療センターのなかにおきましても、先生方が非常に前向きに捉えてございまして、医療センターのなかにはガン患者、末期の患者がいるんですね。そうしますとベッドがどうしても塞がってしまっていますので、これは何とか緩和ケアをつくってほしいとそういった要望が非常に強かった。それではということで私どもも準備をしたんです。先ほど放射線治療（リン薬）でございまして、これも全て新たに入れ替えます。ですからそういったことからいたしますとおそらく先生方にいたしましても、ガンの拠点病院というようなことになってまいりますので、あとはもうおっしゃいますように市民の皆様方に、ガンに対する恐怖心といいますかそういうことのないような、そういったことは指導するように私は、専門外なので分かりませんが何ともいえませんが、医療センターの先生方にはお話をさせていただきます。それでご了解ください。

- ・ 民間マンション建設の際に起こる日照権問題等について

【質 問】

最初に、市長にお礼を言わせてもらいます。この窓から見える青いシートがかかっているのが問題のマンションです。いまどんどん工事が進められていますが、市長がわざわざ私たちにお会いして下さって私たちの要望をお聞きして、指導もされました。私たちも裁判でも闘い、この春に和解が成立しました。内容としては9階を8階にするとか、少しだけ向こうは譲歩しました。ただ残念なことは、計画では隣地境界93cmが135cmになったんです。とにかく日に日に建物が高くなっていくと圧迫、閉塞感を感じます。ですから私たちは昨年12月の市議会に陳情、建物の高さを規制する中高層建築物に対する行政指導強化を求める陳情が全会一

致で採択されました。その趣旨が3月15日に市が発表しました。この方針案が早く施工できるように市長や議員の方々にご努力をお願いした。それからこの圧迫感・閉塞感を緩和するには東京都の環境影響指針の形態率というものがあるんですが、それはどういうものかという当該建物の下から上をのぞき、建物が空に占める率が8%を超えると、自認限度を超えるということです。これは建築基準法等法律ではないため、実際の拘束力はありませんが、方針案のなかに形態率も採用していただきたい。私たちの住んでいる習志野台8丁目は、自衛隊の航空機の飛行路で、すごく低空なんです。パイロットの顔がみえるくらいに低く飛ぶときもあるんです。沖縄国際大学に米軍のヘリコプターがぶつかったというようなことをこの習志野台で絶対させてはいけないと、一昨年防衛庁に行きまして要請しましたが、法律で規制するものはないので、私たちの要望は実現しませんでした。是非、この変更案を更に充実させてですね、住民の暮らしや命を守るために、取り入れてもらいたいと思います。

【回 答】

皆様方のご努力によりまして和解なされた、ということでございまして、そのご努力には心から敬意を表したいと思います。この問題をはじめましてその他にも市内いたるところで、高度制限をして欲しいというような要望、議会等でもいろいろとございました。私のほうも何とかしたいと思い、担当部とのやりとりをしまして、どうにかここで高度制限ができるというところまで来たところでもございます。そういったなかに、ご当地で確かに自衛隊のヘリ、あるいは飛行機が低空で飛ぶというようなことで問題だということも、承知をいたしております。その他市内にも先ほど申し上げましたようにいろいろございまして、私どももこの高度制限というものをやることで、これから先対応させていただきますので、どうぞご理解をいただきたいと思います。

- ・習志野台2丁目公園の「ふれあい花壇」敷地内への水道設置について

【質 問】

市長にお礼と要望をお願いします。2丁目公団の1号公園の高台にふれあい花壇をつくっていただきまして、3年くらい前から、花壇を2回から3回になりまして、通る方がみんな喜んで立ち止まって見て下さっておりまして、まさに、先駆け緑化フェアを1号公園がやっていました。そこで今度は反対のほうに、水道を入れていただきたい。市長にも是非1号公園や2丁目の公園を見ていただきたいんです。

【回 答】

大変ご苦労様でございます。先般第二小学校ですか第一ですか、何十周年記念のときにお話しをさせていただいたんですけれども、そういった皆様方の行動というもの、子供たちの成長していく過程におきましてのふれあいといいますか、そういった思想を植え付けていただけるってことで本当にありがたいという話を、私はしたつもりでございますけれども、確かに今までのご努力は心から感謝を申しあげます。今多くの皆様方がその時だけは、やっていただけるんですけれども、継続してやるっていうのはなかなか大変なことです。ですからそのようなことに対しまして、私どもも前向きに捉えていきますので、現場をよく見させていただきまして、出来得るものなら、させてもらいますので、ひとつご理解ください。

・ 新京成線北習志野駅の歩道橋へのエレベーター設置について

【質 問】

北習志野の駅前に歩道橋があります、タクシー乗り場や駅の階段を、お年寄りや赤ちゃんを連れた乳母車等が危険ですので、早急にエレベーターの設置をお願いします。

【回 答】

新京成が北習志野駅前に今、広場になっていますね、あそこにビルを建てるということですね、そしてそれらに対しまして今年度の予算で私どもも、ペディストリアンデッキに予算を計上していると思うんです。ただ、既設のペディストリアンデッキにはエレベーター・エスカレーターとか、

そういったことはしてございませんけども、新たに駅前にできる分には、私ども予算計上してございます。また、新京成のほうにもそれなりのお話しをさせていただきます。ひとつよろしく申し上げます。

・道路側溝下水汚泥清掃について

【質 問】

先般私どもの総会で下水の汚泥の滞留、清掃排除について、どうなっているのかと、いう質問がありました。地域の住民が労力を提供して清掃・排除しているんですけども、段々年齢が高齢化しまして、ハテナと考えまして行政の仕組みはどうなっているのかなということでお尋ねさせていただきます。

【回 答】

道路の清掃につきましては道路管理課という課がでございます。業者のほうに年間委託契約いたしまして実施しております。皆様のほうからご連絡あれば、その採られた汚泥等については処理いたしますし、側溝の清掃を含めまして、定期的の実施しておりますので、急に溜まったりすればお電話いただければ早急に対応いたしますので、よろしくお願い致します。

・新京成線北習志野駅の歩道橋の耐震について

【質 問】

駅前の開発の件について、歩道橋は耐震構造になっているのか、そういうことも含め、歩道橋をもう一回造りなおすのか、本工事もやるのか、そのへんをうかがいたい。

【回 答】

北習志野の駅広でございましてけれども、新京成電鉄で駅舎の新設や旧駅舎の改装、ならびに駅の右側が空き地になっているところを駅ビルに、と

いう計画がございます。そこにペディストリアンデッキを這わせるわけですが、ご質問のデッキについては、駅から千葉銀側に向かうそのデッキの件だと思います、そのところにもエレベーターはつけざるを得ないだろうと、ビル計画のなかで検討させていただければと思います。

・働きたいお母さんの放課後ルーム増設について

【質 問】

小学校に入れて働きたいお母さんたちがいるなかで、放課後ルームに入りきれないという状態になっているんですが、市の考えをお願いします。

【回 答】

放課後ルームの待機児童対策ということで、5月現在で、入所対象児童である3年生までの待機児童は72名7ルームになっております。待機児童対策としましては定員の120%までの運用、あるいは需要見込みなどによって毎年度、見直しております。増設が必要と予測される施設につきましては、学校の余裕教室や校庭の状況等、学校と協議して条件が整った段階で順次計画的に整備を行っているところでございます。例えば、習志野台第一放課後ルームにつきましては、定員80名のところ待機児童対策としまして、120%で96名まで受け入れを行っております。しかし5月1日現在で14名の待機児童が発生し大変ご不便をおかけしておりますが、19年度に放課後ルームの増設を行ってまいります。習志野台第一放課後ルームにつきましては、小学校の西校舎1階の余裕教室を利用いたしまして、6月初旬から7月下旬までを予定し、8月1日から使用が開始、定員40名を増やすという工事でございます。これで学校敷地内の放課後ルームと、この余裕教室の2ルームで運営、定員が120名となることから、待機児童の解消が図られるものと思っております。また、習志野台第二放課後ルームあるいは高郷放課後ルームがございますが、高郷も18年度に校舎内の低学年図書室を改修しまして定員を増やし、習志野台第二放課後ルームにつきましても、現在の定員を今後の児童推計をみましても大きな増加もなく推移すると予測しておりまして、待機児童を発生させるこ

となく希望者の入所が図られるものと思っております。

- ・スクールガードの帽子、ジャンパーの支給について

【質 問】

老人会の地区でスクールガードの担当をさせていただいております。立ち上げて約1年以上になります。市で傷害保険をつけていただきました。万が一の事故のためにも、ありがたいと思っています。それと船橋市で統一した腕章もつけていただきました。それでひとつお願いがあります。これから暑くなるわけですが、統一した帽子、あるいはジャンパーを市の予算に入れ、皆さんに支給すると、またひとつやりがでるんじゃないかと思えます。それともうひとつ、七林小学校の校長先生と教頭先生が、同時に転校になりました。今まで約1年間積み上げてきたもの、ハップニュースの情報とかコミュニケーションが比較的うまくいったところが、2人とも変わってしまったわけなんですね。この間も連絡会議もありまして、校長先生方も我々も顔をはじめて見る関係もあって、戸惑ってしまいました。学校の先生が両方変わることは、地域住民にとっても不便じゃないかと思えます。

【回 答】

スクールガード本当ご苦労様でございます。ひとつ今後とも続けていただきますようお願いいたします。そして、統一した帽子とジャンパーでございますが、こういったことはやはりひとつの目印になりますので、検討させていただきたいと思えます。それから学校の校長教頭の異動でございますけれども、これは私どもは管轄外でございますけれども教育長によくお話しをさせていただきます。確かに管理職が変わりますとその学校がまた新たな形でスタートするわけでございますから、重々注意するようにお話しを申し上げます。

・新京成バスの路線変更について

【質 問】

新京成のバスについて、今まで北習志野から津田沼行きは中央通りを通っていたんですけど、急に路線が変更になり、日大のほうを通るようになりました。私たちは第二小学校前からいつも乗り降りしていたんですけど、北習志野から習志野車庫へ帰るバスが1時間に1本か2本停まるくらいで大変不便になっています。特に午後の2時半から4時半までバスが1台もない、お遣いなんかはとても不便で、新京成には個人的に陳情しているんですが聞いてもらえません。回送のバスは通っているんです。3時半ごろの回送バスに乗れるようにしていただきたい。交通課から新京成にお願いできないものなのでしょうか。

【回 答】

最近は車の使用が多くなり、各地でバスの経営が行き詰ってきている、各地域でいろいろな要望がでてきております。事業者は赤字でやっているわけにはいきませんので、そのなかで創意工夫しながらやっているところもございます。今おっしゃられた点につきましては、私どものほうから新京成に問い合わせ、お答えをさせていただきたいと思っております。